

4代目の江口グループ現場だより

100年目の笑顔感謝創造計画発表会を行いました。

7月2日に江口グループ笑顔感謝創造計画発表会を行いました。笑顔感謝創造計画発表会とは、一般的には事業計画発表会と呼ばれていたりする、会社の1年の経営方針を発表したり、部門の計画を発表したりする場です。江口グループでは昨年から、みんなの笑顔をつくること、そして「ありがとう」を頂ける仕事を大切にしようという点からこれまでの事業計画発表会から笑顔感謝創造計画発表会と名前を変えて開催しています。

今年も全社員が揃い、うらら小ホールにて行いました。社長の今期の方針発表から始まり、各部門の計画発表、そして社員一人一人の決意表明があります。創業100年を迎えた今期の発表会は例年以上に社員一人一人の熱い気持ちのこもった発表会となりました。そんな発表会でしたし、新しく夢をみんなで共有できたので社長として今まで一番楽しい発表会でした。今期も江口グループ社員みんな和の力で頑張りますのでよろしくお祈りします！



和の力で
がんばります!!

令和三年度 江口グループ「笑顔感謝」創造計画発表会



全長150mなのに誤差がたった1mmの橋が 手取川に架かる土木のチカラ!

先日、白山市の北都鉄工さんにお邪魔し、北都鉄工さんが造っている加賀海浜産業道路の手取川に架かる桁を見学させていただきました。見せてもらった桁の長さは150m（橋梁全長のほんの一部です）。この桁が手取川に架かります。この150mの桁、なんと150mもあるのに誤差がたったの1mmなんですって！北都鉄工さんの高い技術力に驚かされました！これだけの技術を発揮するためには、いろんな苦労もあるそうです。鋼材は夏の季節60℃以上にもなるそうです。火傷の危険もあるために明け方から作業を始めることもあったそうです。いろんな努力の結晶が、この素晴らしいものを完成させているのですね！

この桁は江口組で造った橋脚や橋台の上に設置されます。おそらく江口組の造った橋脚や橋台に設置される時も、ピタッと合って設置されるはずですが、めちゃめちゃデカイ土木の仕事ですが、精度は高いし、丁寧な仕事をしています。これが土木のチカラです！江口組が造った橋台、そして橋脚。苦労して、いろんな想いが詰まった橋脚、そして橋台の上にこれが載るのだなと想像すると感慨深いものがありました。土木のチカラで手取川橋梁が完成し、車や人が通ることを考えるとワクワクしてきます(^ ^)



手取川に架かる桁



江口組が造った橋脚

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

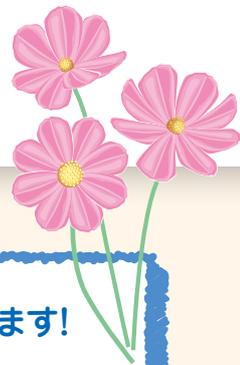


(株)江口組公式 Twitter

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)!



小松天満宮の浮島をきれいにしました!

8 月7日早朝に社員や協力会社の皆さん80名ほど参加しみんなで小松天満宮の浮島をきれいにしました!

小 松天満宮は平成29年に浮島になりました。江口組も工事に携わらせてもらい完成した浮島です。日本でも珍しい工法で工事を行い、完成してからはインフラツーリズムとしても国交省のホームページにも掲載されているほどの場所になりました。その小松天満宮の浮島ですが、浮島を渡るための橋の高欄や転落防止柵が蜘蛛の巣や鳥のフンで汚れています。せっかくいい浮島になったのに、また小松天満宮は小松市にとって文化的にも歴史的にも大切な場所。そんな汚れているのは残念だなと思い、小松天満宮の清掃を始めることにしたのが3年前。そして今年は4回目のボランティア活動でした!

蜘蛛 蜘蛛の巣や鳥のフンでだいぶ汚れていた天満橋の高欄や浮島の転落防止柵を参加者の皆さんで雑巾を使いピッカピカにしました。みんなの頑張りでお松天満宮キレイになりました! 天満宮の神様も喜んでくれると嬉しいです。朝から気温が上がり暑い中での作業になりましたが、皆さんお疲れさまでしたっ!



みんなで SNSを頑張っています!

7 リエーション江口の高橋です。江口グループは社員みんなでSNSを頑張っています! SNSのスキルを上げるために先日、1日授業のような形でSNS勉強会がありました。プロジェクトメンバーがSNSについて学ぶ日という事で授業は全6コマ。全てではなく、自分に当てはまるテーマに参加します。私は先生としてやる授業もあったのでもう大緊張です(笑)

持 ち時間は50分! ほとんど使ったことのないパワーポイントで頑張って資料を作りました。私の内容は先日エクスマセミナーを受けて学んだ事を、みんなに伝えることでした。頭で言う流れを考えて、スライドショーを流しながら何回かやってみましたが、やっぱり人前に立つと緊張しますね! 持ち時間の半分くらいで力尽き、あとは一緒にセミナーを受けていた社長にフォローしてもらいました。多分先生をしたメンバーで一番緊張していたと思います。

言 葉のニュアンスや言い方など、なかなか伝えるって難しいですね。それでもいつも受けるだけのインプットから、先生としてアウトプットできたのはとても良い経験でした! アウトプットする中で気づけたり、自分の中に改めて落とし込めたりするなあと感じたので、皆さんも何か学んだ事があったら、誰かに伝えたり、教えたりすると新たな発見があるかもしれないですよ!



アウトプットも勉強です!

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



工務部
浦 直之

スタッフ通信

工務部
森中 勇樹

私の「十八番」は
「張り切ること」です。公
仕事をすると、長所に短所
にもなる部分なので、近年は
落ち着いて行動することを
心掛けています (浦)

こんにちは。
朝晩に秋を感じる季節になりました。
みなさま、体調を崩さぬようお過ごし下さい。
さて、今月のテーマは【私の十八番】です。
みなさまの【十八番】はなんですか？

得意なことは

DIY 了。

森中 勇樹

工務部
新谷 一真

クリエイション江口
村上 昌洋

総務部
園井彩梨愛

ゴールキーパー
35年!!



自分の部屋
の掃除

書道



お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、
ご意見・ご感想などがございましたら
ご連絡下さい!!



発行元 EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp

わくわく倶楽部

江口グループ

第170号

令和3年9月発行



2年ぶりの甲子園の選手宣誓は地元小松市の木下主将!! 最高の選手宣誓で、誇りに思います!

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

皆さん、こんにちは!江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを読んで頂きありがとうございます。東京オリンピック盛り上がりしましたね。毎日テレビの前で日本選手を応援していました。会社が休みの日は朝から夜までずっとオリンピックでした(笑)そして日本選手たちの活躍に感動を沢山もらいました!メダルを獲得した時の喜びもそうですが、負けた選手たちの涙にも感動でした。選手の皆さんおつかれさまでした。そして沢山の感動をありがとうございました。

さてオリンピックが終わり、オリンピックロス気味でしたが、今度は夏の甲子園が始まり高校球児の活躍に感動まくっています(原稿は8月16日に書いています)。特に今年は地元小松市の小松大谷高校が36年ぶりに出場、試合は1回戦でサヨナラ負けてしまいましたが、最後までハラハラドキドキの試合を楽しませてもらいました。選手の皆さんにはこんなにも甲子園を楽しませてもらい、「ありがとう」を伝えたいと思います。そして、木下キャプテンが全国49校の代表として選手宣誓を行いました。その選手宣誓が素晴らしかったです。今月は、素晴らしかった木下キャプテンの甲子園での選手宣誓について書こうと思います。

高校球児の真(まこと)の姿を見せることを誓います!』とした小松大谷高校キャプテンの木下くん。彼は小松市の松東中学校の出身です。同じ小松市民として甲子園の舞台に立派に選手宣誓をしたことを誇りに思います。そして、宣誓に込められた想いがよかったです。

『2年ぶりの夏の甲子園。世界に広がる困難のために、普段の生活ができなくなった人が多くいます。私たちも学校生活、部活動が2年前とは全く違ったものとなりました。1年前、甲子園という夢がなくなり、泣き崩れる先輩たちの姿がありました。しかし、私たちはくじけません。『思いを形に』その言葉を胸に、自分の目指すべき道を定め、友の笑顔に励まされ、家族の深い愛情に包まれ、世界のアスリートから刺激を受け、一步一步歩んできました。人々に夢を追いかけることの素晴らしさを思

い出してもらうために、気力体力を尽くしたプレーで、この夢の甲子園で高校球児の真(まこと)の姿を見せることを誓います。

(引用:小松大谷高校野球部 木下仁緒主将 選手宣誓より)』

昨年はコロナの影響で中止になった甲子園。甲子園を目指して頑張ってきた多くの高校球児の夢が途絶えました。それは高校野球だけじゃありませんし、高校生だけじゃなく、中学生も同じような想いをした人たちが沢山いました。これまで目標にしてきたものが無くなってしまふ辛さ、悔しさ…沢山の想いが去年はありました。

そして、今年もコロナ禍ということもありますが、これまでの経験を活かし感染予防を徹底し甲子園が開催することができました。その甲子園へ全国の予選を勝ち進んできた49校の代表として、木下キャプテンの選手宣誓はいろんな人たちの想いがこもった素晴らしい選手宣誓だったなと思います。

コロナの影響で大変な状況の人がたくさんいると思います。それは環境もそうだし、心もそうです。ぜひそんな人たちに勇気を与えて欲しい、感動を与えて欲しいと思いました。自分も高校球児の一生懸命のプレーが大好きな1人です。1回戦で小松大谷高校は負けてしまったけど、最後まで一生懸命プレーする姿は感動でしたし、まさしく高校球児の真の姿を見せてもらったなと思います。高校野球の真の姿とは一生懸命にプレーする姿だと思います。同じ野球でもプロ野球を見てもそこまで感動はしません。でも高校野球は球児たちが一生懸命にひたむきに最後まで諦めない姿に感動してしまうのだと思います。

ベンチ入りメンバーが全て地元出身の選手たちばかりというのも嬉しかったです。皆さんのプレーを見て勇気や感動をもらいました。小松大谷高校野球部の選手の皆さんありがとうございました!!



選手宣誓の木下キャプテン